好評開催 しえるマルシェ「みんなの食堂」

１月２１日（日）に、しえるマルシェ『みんなの食堂』を開催いたしました。前夜からの冷たい雨にも関わらず、多くの皆様のご来場をいただき、心より御礼申し上げます。ご協力いただいた全ての皆様に感謝いたしております。本当にありがとうございます。

カレーライス（高校生まで１００円・大人３００円）の温かさが嬉しい！美味しい！とのご好評をいただき嬉しい限りです。ミニ4駆サーキット、けん玉教室、ルービックキューブ教室も笑顔いっぱいの盛況でした。

次回は、３月９日土曜日の開催で、新しい企画として『薪わり・焚火体験～焼きマシュマロを食べよう！』と、ワークショップ『アロマスプレーを作ろう！』が加わります。具だくさんのカレーライスをはじめ地元野菜の販売、焼き餃子屋さん、中華まんの販売カーさん、綿あめ無料配布、大好評のミニ４駆サーキット、けん玉体験ルービックキューブ体験など大人気の企画もございます。

是非皆さま、お誘いあわせの上ご来場ください。よろしくお願いいたします。ぽかぽかの晴れになりますように。

事業推進係

けん玉教室・ルービックキューブ教室・ミニ４駆サーキット

お困りごとはありませんか 相談支援センター すばる町田

町田市障がい者地域生活支援拠点事業者登録

相談支援センター すばる町田（社会福祉法人 みずき福祉会）

相談支援センターすばる町田は、みずき福祉会が運営する指定特定相談支援事業所です。開設当初は福祉サービスの支給決定や継続支給に必要な計画相談支援を主な基本業務として行って来ました。

開設して８年を経て現在は、利用者様と親御さん双方の高齢化により、利用者様のみならず、ご家族を含めた、将来の生活についての相談をお受けすることが多くなっています。

こうした相談をお受けするにあたり、知的障害以外の福祉サービスについては、法律や制度、行政の窓口がそれぞれ異なり、ワンストップで解決に至らないケースがほとんどです。そのため、相談支援事業所が、利用者様ご本人やご家族、サービス事業所、各種関係機関、行政窓口などの橋渡しを行うことも大切な日常業務となっています。

あらゆる連携をつなげていきます

例えば、グループホームに入寮契約をするにしても、ご本人の定着支援のお手伝いだけではなく、親御さんの子離れや高齢化、将来的に今までしていた親御さんの役割を誰がどう担って行くかなども大切な課題です。

単に利用者様の福祉サービス受給を計画化するだけではなく、継続的で安心できる暮らしの確立を一緒に目指していく事が大切であると、私たちチームは考えています。

具体的な対応としては、成年後見の申立のお手伝いや、高齢者福祉サービスの関係機関との連携など様々で、時には遠い将来のお墓の相談までもお聴きしたりしています。

新しいかかわりのヒントを見出します

また、重度の障害の方の相談支援は、提供しているサービス自体、本人が望むものなのか確認することが難しく、ご家族の思いが強くなるため、なかなか親離れ子離れができなかったり、生活場所の移行など、次のステップへ行くまでに時間がかかったりすることが多くあります。

困難ケースは相談支援事業所だけでの対応は難しく、行政をはじめ関係各機関に協力いただき、情報共有しながら、サポートできるようにしています。

また、例え解決まで至らなくても次のサービスへの準備につなげることが大切で、地域の社会資源は何があるのかリサーチし、いろいろなサービスを理解し、外部とのパイプラインを豊富に持ち、日々勉強する必要があると痛感しています。

「無いサービスは相談支援事業所が創る！」と行政主催の研修で示されています。ちょっとむちゃぶりな話だと思いましたが、ご利用者様のニーズを知るほどに、制度や既存の福祉サービス以外にも、私たち自身で何かできるのではないか！！と、考えるようになってきています。小さなかかわりでも、まずは始めてみることに価値があります。

息をするように日々学び、自分たちには何ができるのか？私たちの役割は？と。

相談支援専門員チーム一同、福祉事業者に関わらず、地域全体の皆さんと一緒に前向きに、安心と幸せを叶える未来を目指していきたいです。